

電子カルテの自由記載を用いた言語モデルの開発とそれを基盤にした情報抽出・分類機能の検討研究

1．研究の対象

2010年1月1日から2021年12月31日に大阪大学医学部附属病院を受診された方を本研究の対象としています。

2．研究目的・方法

この研究の目的は、医師や看護師などの医療従事者が記録した電子カルテの自由記載を用いて、フリーテキストとして記録された病名や症状・所見などの医療情報を自動で抽出するコンピュータプログラムを開発することです。

この研究では、大阪大学医学部附属病院倫理審査委員会の承認を受けて実施するものです。これまでの診療で電子カルテに記録されている自由記載のデータを収集して行う研究であり、特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

このように収集したデータから医療文書で出現しやすい表現パターンを自律的に学習する言語モデルを構築し、目的の医療情報を自動で抽出する人工知能ツールを作成します。

【研究期間】

調査データ該当期間：2010年1月1日～2021年12月31日

研究期間：研究機関の長の許可日～2027年3月31日

3．研究に用いる試料・情報の種類

医療従事者の記録した自由記載文書を研究に用います。

例) 診療録、看護記録、退院サマリー、院内外紹介状や返書、検査レポートなど

4．患者個人情報保護について

本研究で収集した情報については、個人が同定できない形に匿名化を行います。患者さんを特定する情報（患者IDと匿名化IDとの対応表）は大阪大学医学部附属病院の電子カルテネットワーク上におかれたサーバで管理し、施設外に持ち出すことはありません。

患者さんのデータは、当研究室において研究責任者が、生体認証等で入室制限をされた個人情報管理区域で厳重に保管します。

5．研究成果の公表について

本研究成果は学会や誌上、Web等で発表することがあります。この際、公表するデータは構築したコンピュータプログラム（言語モデルと動作させるうえで必要な情報）とその

性能評価指標のみであり、医療従事者が記録した文書をそのまま公開することはありません。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも当院における診療等で患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、言語モデルの構築後にご指定の患者さんの情報を特定し、その情報だけを外してモデルの再調整を行うことは困難です。そのため、言語モデル公開後にデータを使用してほしくないご相談をいただいた場合には、ご希望に沿う対応が難しい場合もあることをご了承ください。その際にも、患者さんが被る不利益を出来る限り最小限にしたいと思いますので、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-15

大阪大学大学院医学系研究科

- 変革的医療情報システム開発学・寄附講座助教
- 医療情報学医療情報学・医員

和田 聖哉（研究責任者）

電話番号：06-6879-5900（直通）